

旭東地区

第56号

## いくせいきょうだより



発行 旭東地区青少年育成協議会 広報研修部

## あいさつ

旭東地区青少年育成協議会  
会長 矢部修一

平素から旭東地区青少年育成協議会の活動にご支援、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。  
ご承知のように昨年5月から新型コロナウイルスの対策が緩和され、今まで中止・縮小等を余儀なくされていた各種の行事が再開され補導活動も行うことができました。また、当育成協議会においても地域教育懇談会が3年ぶりに再開することができました。3年間中止した影響で不手際もあったことと思いますが、来年度以降の実施に向け内容などを含め検討します。  
今年度は、皆様のご協力により約20年にわたり継続している2つの取組みが認められ、表彰されました。継続することを大切にしつつ、旭東地区青少年育成協議会としては、変動する社会情勢に対応した活動も目指しますので、地域の皆様には引き続き活動へのご尽力、ご協力をお願いします。

## 環境大臣表彰

地域の環境美化その他生活環境の改善を積極的に推進して顕著な成果をあげている地区(団体)として、「地域ふれあいクリーン作戦」の活動が表彰されました。



## 優良団体表彰

(岡山県警察本部長・交通安全協会)

地域において交通安全活動を積極的に推進し、顕著な功績のあった団体として、「交通安全標語募集」の活動が表彰されました。



## 風薫る、きょうとう

旭東中学校区内の学校・園の近況や、児童や園児たちの様子などをお届けします。

岡山市立古都小学校  
校長 石井 聡

古都小の開校記念日は10月3日で、その日は校長から古都小にまつわる話をします。今年には校歌に関する話をしました。「古都村史」という古い資料を紐解き、子どもたちが知っている今の校歌に至るまでに3つの校歌があったことを伝えました。  
時代により曲調や歌詞は異なりますが、いずれの歌も豊かな自然、地元に根差す歴史、人々の暮しが謳われ、郷土を愛し誇りに思う人々の心が伝わるものばかりでした。  
令和6年度、古都小は開校150周年を迎えます。特別な式典はありませんが、いつも取り組んでいる運動会、開校記念式、学習発表会などに「150周年」の冠をつけ、子どもたち、保護者、地域の皆様、教職員で精一杯に古都小の誕生日をお祝いしたいと考えています。

古都こども園  
園長 岸上 美和

寒くても、頬を赤くそめながら「先生!見とってよ」となわとびに挑戦している子どもたち。古都こども園が開園して、4度目の春を迎えようとしています。開園当初は87名だった子どもたちも、現在105名の子どもたちが、元気いっぱい通ってきてくれています。いつも地域の皆様に温かく見守っていただき、感謝申し上げます。  
古都幼稚園の時に行われていた地域や小学校との連携を受け継がせていただき、地域の皆様との交流として「七夕まつり会」や「グランドゴルフ体験」、2月には「しいたけがり」も予定されています。古都小学校との連携行事も子どもたちの楽しい行事であり、小学生になることに期待と憧れの気持ちをもつ姿がみられます。これからも人とのつながりをおして、たくさんのことを感じ学んでほしいと願っています。

# 地域教育懇談会・地域ふれあいクリーン作戦の報告

芥子山学区

地域教育懇談会 7月24日(月)

会場:岡山市旭東公民館(参加者約70人)

テーマ:豊かな人間性の育成に向けた家庭・学校園・地域社会の取組と課題

～地域でできる安全・安心の確保～

学校園からは、あいさつ運動の取り

組みや、SNS・スマホの使い方の

教育、登下校時のマナー等について報告がありました。

講演:土江浩徳氏「地域でできる防災と教育」

○「防災を考えた時が備え時」

○普段から「関心を持ち、自分事として具体的に考え、家庭でも防災について会話をする」



いざという時にスムーズに行動できるように備えておくことが大切と教わりました。

地域ふれあいクリーン作戦 12月10日(日)

保育園・幼稚園児から小中高生、各学校の先生や地域にお住まいの方など各指定場所で多くの方が参加して、通学路や公園・用水路など様々な場所で清掃活動を行いました。ゴミを拾ったり、落ち葉を拾ったりしてきれいになった公園や歩道を見て、大人も子どももうれしそうな表情が見られました。参加した子どもたちからは、「こんなに落ち葉が落ちてたんだ!」とびっくりする声や、「みんなで掃除したらきれいになったね」と喜ぶ声が聞かれました。

自分たちの住む地域を大切に、そしてきれいに守っていこうという気持ちが高まりました。ご協力いただいた地域の方々、ありがとうございました。



可知学区

地域教育懇談会 12月3日(日)

会場:可知小学校(参加者41人)

講演:服部育代氏「誰ひとり取り残さない防災講座～声なき声に寄りそう社会へ～」

・コロナ禍を経て、地域の繋がりが少なくなってしまうている。地域で防災や子育てをやっていくためには地域の

行事を増やしていくことが大切。

・子どもたち目線の危険な箇所を

集めたマップを作り、地域で共有

できるとよいのではないかな。



自分たちが住んでいる地域の方の把握ができていないと反省。誰一人逃さない地域の繋がりが作りができるようにしたい。

地域ふれあいクリーン作戦 12月3日(日)

今年も約203人の地域の方や子どもたち、保護者、教職員が参加しました。可知学区はゴミがとても少なく、日頃から地域の方の協力のもときれいな環境が保たれているのだと分かりました。また、川の中に落ちているごみは取りにくく、溜まりやすいことが気になるという声もあり、ポイ捨てをしないことの大切さを改めて感じました。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



古都学区

地域教育懇談会 11月26日(日)

会場:各町内会ごと(参加者225人)

テーマ:昔と今の子どもの遊び

・昔は鬼ごっこや秘密基地づくり、川遊びをした。

・今は玩具の減少やボールの使用を禁止しているなど、子どもの遊ぶ環境が減り、家で

ゲームをしている子が多い。

・メディアと上手に付き合うルール

作りが必要であると再確認



子ども達が、地域の方を知り、また地域の方に知ってもらう良い機会となりました。

地域ふれあいクリーン作戦 11月26日(日)

総勢323名の参加をいただき、各地区のゴミ拾い、公園の草抜きや清掃を行いました。新幹線下等交通量の多い場所でのごみのポイ捨てがありました。通学路や公会堂などの施設はとてもきれいに保たれており、日頃からの環境美化の意識を感じることができました。

